

# 平成28年1月18日開催 県政ランチミーティングに寄せられたご意見への対応状況について

## 1 開催概要

- ・開催日 平成28年1月18日（月） 12:00～13:00
- ・会場 長野県佐久合同庁舎2階 201号会議室（佐久市跡部65-1）
- ・参加グループ 小諸おしゃべりサロン
- ・懇談内容 誰もが安心して子育てができる環境づくりについて

## 2 参加者のご意見の概要と、ご意見に対する対応状況

### （1）市町村が実施する子育て支援策について

#### （ご意見の概要）

- ・小諸・北佐久地域は、子どもに向けた支援は厚いが、親に向けた支援がない。
- ・市町村で行われている学童保育の取組についても、預かってもらえる子どもの年齢など、自治体間で差がある。県内で足並みが揃っていれば安心して母親も働きに出られると思う。

#### （知事の発言）

- ・子育て支援は市町村が主体となって取組を進めているが、県でも実態把握し、県全体のレベル感を統一したい。

#### （ご意見等に対する対応状況）

- ・市町村における子育て支援については、親子交流や子育て相談等の取組が広がっていますが、そういった取組がさらに充実が図られるよう、県としてもその運営を支援してまいります。
- ・また、児童福祉法が平成24年8月に改正され、放課後児童クラブの対象児童が従来の小学校低学年から小学校高学年までに変更となったことから、市町村においては順次受入体制を整えている状況です。県としても各市町村の状況について実態把握の上、引き続きその整備・運営を支援してまいります。

【担当課：県民文化部子ども・家庭課】

### （2）世代間交流の取組について

#### （ご意見の概要）

- ・お年寄りと近所の子どもたちが一緒に集まって一緒に何かを出来る場所があれば、お母さんたちも安心して地域の人と一緒に子育てができ、お年寄りも元気でいられる。我々は小諸で小学校の空いている教室を活用したモデルケースをつくりたいと考えている。

#### （知事の発言）

- ・世代間交流は大事だと考えている。子どもたちが学習する場も必要であるほか、長野県を高齢者が活躍できる社会にしたいと考えている中で、これらを統合する役割を皆さんが担っていただけるなら一緒に応援したい。

#### （ご意見等に対する対応状況）

- ・県内では、市町村の公民館を拠点とした、世代間交流の活動が行われていると認識し

ておりますが、県としてもそのような活動は、公民館の大切な役割の一つであると考えています。このため県では、地域力の向上に向け、専門アドバイザーの派遣やブロック別の実践型講座を開催するなど、公民館活動の支援を強化してまいります。また、今後「子どもの貧困対策」の取組としても、子どもだけで家で過ごす時間の長い子ども、生活習慣の確立や学習習慣の定着が不十分な子どもに対し、学習支援や食事の提供、相談支援等を地域で行う居場所づくりを促進してまいりたいと考えております。

**【担当課：県民文化部こども・家庭課、教育委員会文化財・生涯学習課】**

- ・ 県では、シニア世代の皆さんが知識や経験を活かし、社会参加を行うことのできる「人生二毛作」社会の確立に向け、平成26年度から県長寿社会開発センターに「シニア活動推進コーディネーター」を配置し、シルバー人材センター等関係機関の連携体制づくりや、シニア世代の社会参加のためのマッチング支援等に取り組んでいます。平成28年度からは、コーディネーターを増員し、就業や子育て支援など、シニアの力が必要とされる新たな分野でも活躍できる仕組みづくりに取り組んでまいります。

**【担当課：健康福祉部健康増進課】**

**(3) 妊娠期、産後における子育ての孤立化防止について**

**(ご意見の概要)**

- ・ 妊娠期、産後は女性の人生の中で一番メンタルに不調を来しやすい時期であるにも関わらず、家に引き籠もりがちになり、孤独が問題を悪化させるケースが多くあるため、この時期の子育ての孤立化防止に取り組んでいただきたい。

**(ご意見等に対する対応状況)**

- ・ 産後における子育ての孤立化を防止するため、平成28年度から地域の助産師が市町村保健師への技術支援、産後ケア事業への助言を行う「産後ケアアドバイザー派遣事業」を新たに実施し、産後の心身のケアが必要な時期における産後ケアや育児指導の充実を図ってまいります。

**【担当課：健康福祉部保健・疾病対策課】**

**(4) 長野翔和学園の取組について**

**(ご意見の概要)**

- ・ 発達障がいを抱える18歳以上の子どもたちの支援を長野翔和学園が実施しているが、私たちは幼児期から実施できる取組を始めたいと考えている。

**(知事の発言)**

- ・ 長野翔和学園の取組については、県全体の発達障がい支援教育のレベルアップにつながるよう一緒に取り組んでいきたい。恐らく長野翔和学園も皆さんのように地域で問題意識を持って活動している方とつながりを持ちたいと考えているはずなので、まずは皆さんと長野翔和学園とで直接話ができるように紹介をしたい。

**(ご意見等に対する対応状況)**

- ・ 長野翔和学園が平成26年4月の開校から実績を重ねてきた、子ども・若者の個性を伸ばす教育（ギフテッド教育（※））の取組は、支援を受けている学生と保護者から高い評価を得ていると認識しています。その取組を全県に普及させるため、今後、長野翔和学園と連携し、ギフテッド教育の教育的効果を検証した上で、ノウハウを継続的に研究するための仕組みづくりや、ギフテッド教育の導入に関心の高い教育関係団体等と連携した「子どもの個性を伸ばす教育（ギフテッド教育）長野県モデル」の構築に取り組んでまいります。

※ ギフテッド教育とは、発達障がいの子ども・若者の「生きていく気力」を育てるため、個々の適性や興味に応じた指導を行うことにより、長所を伸ばし自信や自尊心を育む教育実践のことです。

**【担当課：県民文化部次世代サポート課】**

### **(5) 学校における発達障がいへの理解向上について**

#### **(ご意見の概要)**

- ・ 公教育の場で、発達障がいを抱える子どもへの理解が十分ではない。普通学級の先生たちに対する発達障がいへの理解向上に取り組んでいただきたい。

#### **(ご意見等に対する対応状況)**

- ・ 県では、発達障がいのある児童生徒の理解をはじめとして、通常の学級を含む、全ての教員が特別支援教育を理解し、担っていくため、初任者研修をはじめとした各種研修会において発達障害への理解と支援について周知するほか、各学校の要請に応じて学校現場に出向いて実施する「発達障がい支援力アップ出前研修」を実施しております。平成27年度には、159校、延べ約5,100人の教員に対して出前研修を行いました。今後も引き続き、各種研修会を通して、教員の理解向上、支援力向上に努めてまいります。

**【担当課：教育委員会事務局特別支援教育課】**

## **3 問合せ先**

企画振興部広報県民課県民の声係

電話 026-235-7110

FAX 026-235-7026

E-mail koho@pref.nagano.lg.jp